

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(24年1月分)

1. 調査実施期間 平成23年 12月20日 ~ 24年1月10日
2. 調査実施方法
東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
1月分の回答企業数は35社、回収率は83.3%である。
3. 判断指数の算出方法
各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		24/1月	24/2月	24/3月
仕入動向	国産材	-26.9	-11.5	-5.8
	外材	-33.3	-9.1	-1.5
販売動向	国産材	-29.6	-7.4	1.9
	外材	-22.7	-6.3	10.9
在庫動向	国産材	-17.3	-11.5	-7.7
	外材	-22.7	-7.6	-9.1

仕入れは、先行き不透明感もあり、国産材、外材とも大きなマイナスだが、3月に向けマイナス幅縮小。販売は、国産材、外材ともマイナスだが、3月に向け好転。在庫は、国産材、外材とも先行き不透明、一部先安感もあるため引き続き、マイナス基調で推移。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	24/1月	24/2月	24/3月
スギ正角(グリーン)	-6.3	0.0	0.0
スギ正角(KD)	-2.8	0.0	0.0
ヒノキ正角	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角	-2.5	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	-2.6	0.0	0.0
米マツ平角	-18.4	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	-5.6	-2.8	-2.8
ホワイトウッド集成管柱	-27.8	-11.1	-5.6
レッドウッド集成平角	-23.5	-14.7	-8.8
型枠合板(輸入)	-2.8	-2.8	2.8
針葉樹構造用合板	-8.8	-8.8	-2.9
針葉樹構造用合板(厚物)	-9.4	-9.4	-3.1

スギ正角(グリーン、KD)及びヒノキ土台は小幅なマイナス、ヒノキ正角は保ち合いだが、3月に向け横這いに。米ツガ正角(現地挽)、土台は保ち合い、割物はやや弱含みだが3月に向け保合いに。米マツ平角は、マイナスだが、3月に向けて保ち合いに。北洋アカマツタルキは、やや弱含みで推移。WW集成管柱、RW集成平角ともユーロ安・円高、輸入増により弱含みだが、3月に向けマイナス幅縮小。合板は輸入、構造用、厚物ともやや弱含みも、輸入は3月に向け回復。

1. 荷動き	
仕入動向	米マツ一般材丸太では、米材2月積輸出価格が前月に続き若干上昇。カナダ材は日本の合板向け需要が今後も伸びるとの見方から、量も強含み傾向。又、中国、韓国向けの白物丸太の引合が旺盛で、日本向けは益々入手困難。(東京氏橋:米材問屋) 無理な仕入れは控えている。(東京:米材問屋) 4月に東北で特売をするため、3月は仕入増の予定。ただし欠品あり増やせるか?(東京:外材集成材問屋) 産地は原木価格上昇で製品価格も一段高。納期も遅れがち。(東京:南洋・中国材問屋) 現地の原木出材は低調。製品価格は値決め毎に上がっている。(東京:南洋材問屋) 南洋材は多少の入荷有れど、以後の仕入れメドたらず、20%以 今月くらいまでは仕入れを増す。(東京:国産材問屋) 原木の出荷事情悪いため製品は減少気味。だが、商売に支障なし。(東京:国産問屋) スギKD材、構造、羽柄とも入荷少ない。(東京:国産材問屋) 北洋材原木製材品の手当てが難しくなりつつある。(東京:広葉樹材問屋) 2月のプレカット仕事量はやや少なくなったが、国産材の品薄は変わらず。外材では北洋材のアカマツ・エゾマツの値上がりしが急で品薄。WW-KDの野縁も影響で品薄。(東海:外材問屋)
	スギ、ヒノキの野地板(12mm,15mm)が木材市場には皆無。米マツグリーン3m、4m4.5角が不足(大阪:仲買) 状況変わらず、品薄、価格上昇傾向が続いている。原油高で一層強い傾向に流れるのではないか。(東京:仲買小売) 前月同様、国産材、外材ともに仕入量は変わらず横ばい。(東京:仲買小売) 今月、来月は幾分多く入荷している。(東京:仲買小売) 国産材値上げのため仕入れ増。(大阪:仲買小売)
	国内京浜マーケットでは、2月京浜港への丸太入荷が無かった事から、一部で値上げムードが出始めたものの、マーケット次第で、問屋は状況を見極めていく。(東京:米材問屋) 2月で荷動き一巡の感あり。新年度に期待?(東京:米材問屋) ツガKDの動きは良い。米マツは一服感。(東京:米材問屋) 引合多いが成約までは至らず。産地高に全く無反応。(東京:米材問屋) 材がない。(東京:南洋材問屋) リフォーム等の需要はあるが単価が厳しい注文が多い。(東京:南洋・中国材問屋) 見積りや引合があっても在庫が少なく取れない事がある。(東京:南洋材問屋) 例年2月が売上の底になっているのでは3月から売上は上がると思われる。(東京:外材集成材問屋) スギ小割の役物が足りない。(東京:国産材問屋) 造作材の注文材が良く動く。(東京:国産材問屋) 現在のところ造作材関係も動き悪い。(東京:国産材問屋) 現場の遅れが目立ち荷動き減。(東京:国産材問屋) 国産材・外材とも極端な販売動向は無し。(東京:仲買小売) 売れない。特に国産材がさっぱり。(東京:仲買小売) 合板及び断熱材の納期不明のため、新築物件の着工延期が続出、逆に売り上げ低迷。(東京:仲買小売) 全般的に良い訳ではないが散発的には動き始めたようだ。(東京:仲買小売) 例年通り3月から荷動きが出てきて一安心。(東海:仲買小売)
販売動向	新築現場材料入らないためストップ、益々ひまになりそう。(大阪:仲買小売) 今は震災の影響ないが5月以降が心配。(大阪:仲買)
	京浜港2月入荷が無かった事から、問屋の手持ち在庫は減少傾向にある。(東京:米材問屋) 欠品相次ぎ支障が出ている。(東京:米材問屋) 土場がからっぽ。(東京:南洋材問屋) 入荷少なく在庫は減る一方。今後もまとまった入荷が無ければ在庫増加の見込みは無い。(東京:南洋材問屋) 入荷が遅れがちのために引き続き欠品が目立つ。(東京:南洋・中国材問屋) 入出荷バランスが悪く在庫量減。(東京:国産材問屋) 3月が在庫のピークになると思われる。4月以降は意識して減らす予定。(東京:国産材問屋) 進んで在庫増やさず。(東京:仲買小売) 外材、国産材ともに横ばい推移。(東京:仲買小売) 合板類の在庫を増やしているが、木材は減る一方。(東京:仲買小売)
2. 価格動向	
スギ正角	KD材をかなり以前から注文してあるが未だ入荷せず。(東京:問屋) 相場は一服といったところ。(東京:問屋) KD値上げ浸透、安定。(東京:問屋) 丸太高と需要不振の綱引き状態続く。(東京:問屋) 高値横ばい。品薄。(東海:問屋) 品薄。価格高止まり状況。(東京:仲買)
ヒノキ正角	品薄の状況、価格の上昇がどこまで続くのか先が見えない。(東京:仲買) グリーン材は約1割、KD材は約2割値上げ。(大阪:仲買)
土台角	土台は全く動かない。(東京:問屋) 動き悪い。(東京:問屋)
米ツガ	品薄。価格上昇。(東海:問屋)
米ツガ	仕入れドル価は上昇するが売値に転嫁は難しい。(東京:問屋) 割物、良材少なく、特に3mが少ない。価格も上昇。(東京:仲買)
北洋アカマツタルキ	入荷少なく品薄。特にBグレードが無い。価格上昇。(東海:問屋) 2,000円上げのアナウンスあり。(東京:問屋) 状況変わらず。次回入荷から価格上昇。(東京:仲買) 今月も値上げ。(大阪:仲買)
WW・RW集成材	WWは値上げしている。RWは横ばい。仕事が出れば上がると思われWW値下げ分だけ、値戻し。(大阪:仲買) 原油高はどのくらい影響してくるのだろうか。(東京:仲買) 引合少ない。(東京:問屋)

	3・4月積みの先物はやや上昇。国産材は横ばい。春からの需要増で価格上昇も？。(東海:問屋)
合板	<p>針葉樹合板、納期2週間。12mm3×6判の3月価格は850～860円。 型枠用合板(輸入品)1～2週間スパンで値上げがある。(大阪:仲買) (東海:問屋)</p> <p>全般に強い。厚物は月に100円ベースで上昇している。(東京:仲買) 針葉樹12mmは少量入荷。針葉樹28mmは入荷かなり不足気味。需要はそれ程無い。そろそろ上げ止まるか？(東京:仲買) 依然としてやや上昇し、メーカー・問屋は強きの商い。(東京:仲買) 現状価格は常に気にかけている。売値の設定が難しい。(東京:仲買) 情報どおり値上がり、品不足。(大阪:仲買) 2～3ヵ月後の価格動向に関心を持っている。(東京:仲買) 型枠用合板は入荷問題ないが価格が高騰している。(東海:仲買)</p>